

第 29 回表面技術セミナー

主催：岩手表面技術懇話会

共催：表面技術協会東北支部・化学工学会東北支部・日本表面科学会東北・北海道支部・日本化学会・いわて産業振興センター・一関工業高等専門学校・岩手大学工学部

協賛：応用物理学会東北支部・腐食防食学会東北支部・電子情報通信学会東北支部

日時：平成 25 年 11 月 29 日（金） 13:30～17:00

会場：岩手大学工学部 復興祈念 銀河ホール

〒020-8551 岩手県盛岡市上田 4-3-5

セミナー参加費：無料

定員：約 100 名

講演・講師（タイムテーブル）：

時間	題 目	内 容	講 師
13:30～13:40 開 会 挨 拶			
13:40 14:30	燃料電池における電気化学活性表面積と Pt 表面積の関係について	燃料電池の性能を最も左右するのは、電極触媒である Pt の表面活性点の数である。サイクリックボルタンメトリー法により求められる電気化学活性表面積と CO 吸着により求められる Pt 表面積の関係、および、粒子径と活性の関係を紹介する。	岩手大学工学部 竹口 竜弥 氏
14:30～14:50 休 憩			
14:50 15:40	酸化物系潤滑剤コーティングの創製	高温や腐食環境で安定性が期待される酸化物であるが、従来は摩擦係数が高いという固体潤滑性能に問題点があった。最近、コンビナトリアルコーティングシステムを試作して高効率に低摩擦コーティング最適条件が決定できるようになった。ここでは、酸化亜鉛固体潤滑コーティングの創製とその特異な潤滑特性について紹介したい。	物質・材料研究機構 (NIMS) 土佐 正弘 氏
15:40～16:00 休 憩			
16:00 16:50	アノード酸化とレーザー照射を利用するアルミニウム表面のマイクロテクノロジー	アノード酸化皮膜に覆われたアルミニウムを溶液中でパルスレーザーを照射することにより、アノード酸化皮膜を局部的に除去することができる。電気化学的処理により、皮膜除去部に金属、高分子、導電性高分子などを局部的に析出させることができる。本講演では、これらの要素技術とそれらを用いた応用例について述べる。	旭川工業高等専門学校 校長 高橋 英明 氏
16:50～ 閉 会 挨 拶			

交流会：18:00～(盛岡市内，会費：5,000 円)

参加申込方法：「セミナー参加申し込み」および「交流会参加申し込み」に関して明記し，氏名，所属，住所，電話番号も忘れずに e-mail でお申し込みください。

申込先：岩手大学工学部応用化学・生命工学科 鈴木映一（幹事） e-mail：esuzuki@iwate-u.ac.jp